

## 高知での余暇の楽しみ方

浜松職業能力開発短期大学の朝長成吾先生より紹介を受けました高知職業能力開発短期大学の磯部です。朝長先生とは総合大の同期でした。

さて、この度のリレートークですが、高知での余暇の楽しみ方について書きたいと思います。

高知といえば、まず足摺岬と室戸岬が思い浮かぶのではないのでしょうか。台風の季節には必ずといってよいほど、中継の全国放送がある場所です。高波やうねりを初めて見たときは、恐怖を感じたことを思い出します。足摺岬から室戸岬までは、約700kmの扇状に突き出た長い海岸線があり、暖流黒潮の影響で冬も温暖、南国的気候なので、私はこれまで厚手のコートを着たことがありません。6年前高知に来たばかりのころは、阪神タイガースや西武ライオンズ、現在のソフトバンクホークのキャンプ地として賑わっていました。しかしここ数年で、宮崎等に移ってしまい、昨年はタイガースが2月の後半に2週間だけ、という寂しさになってしまいました。選手は高知に来ても少々屈退？ かもしれませんが、複数の球団の練習を見学できるというのは、なかなか楽しいものでした。また、プロ野球キャンプなどの大きなイベントでも集客数が、首都圏に比べて断然少ないため、人気選手を間近で見ることができません。他にも、昨年高知でCASIOワールドオープンという男子プロゴルフのトーナメントがあり、女子プロゴルフで話題のミシェル・ウィー選手も出場しました。高知空港に知人の見送りに行った際、偶然ウィー選手が専用ジェットで来日する時間と重なり、目の前で記者会見を見学することができました。そこでおもしろかったのが、ウィー選手の身長が高すぎて、目隠しのはずのパーティションから頭がはみ出していたこと、ウィー選手の体格よりも小柄な日本人のSPが頼りなく感じたことです。それにしても、世界レベルで話題の人には圧倒的なオーラがあるなと感じま

した。少し、脱線しましたが有名人が来てもアプローチしやすいという点でも楽しめます。

次に四万十川。関東からフェリーで高知入りしたのですが、その時同室だった年配の女性に「四万十川に行ってみよう」と話したら「ただの川ですよ～」と笑い飛ばされてしまいました。高知の自然を東へ、西へ見てきた今なら少しだけ理解できる気がします。確かに最後の清流と呼ばれるだけのことはありますが高知には他にも仁淀川、吉野川等美しい河川が流れています。家族で川へ行くと、子どもと水遊びをしたり、キャンプで使用されるワンバーナーでお湯を沸かし、ドリップコーヒーを入れたりします。川と山を見渡しながら飲むコーヒーは格別です。

赴任当初は、高知での休日の過ごし方に戸惑ったりもしましたが、ここ最近は楽しみ方がわかってきたような気がします。

自然と対面することで、仕事とは違った面白さがあります。そのことに気づかせてくれた高知の風土・自然に感謝の気持ちでいっぱいです。また、高知県人は本当に気のいい方ばかりです。地元の方と接するにつれ、今度は高知の偉人について興味が出てきました。私は歴史に疎く坂本龍馬についてもほとんど知識がないので、次は県内に多々ある坂本龍馬ゆかりの地をめぐるようと考えています。

それでは、次のリレートークの紹介をさせていただきます。次は沖縄職業能力開発大学の諫山太一先生にお願いします。諫山先生は総合大の同期で、学生時代に一緒に音楽をした思い出があります。

諫山先生よろしくお願いします。

